

JSPS KAKENHI Grant Number JP19K00137

「ウィンダム・ルイスのメディア論——アートとイデオロギーの交錯」

オンライン研究報告会

後援：意匠学会

BLAST

英国前衛美術とグラフィック・デザイン

2022年
3月19日(土)

14:00~14:15 基調報告 (要真理子・跡見学園女子大学)

14:15~14:45 研究報告1 (山本政幸・岐阜大学)

14:45~15:15 研究報告2 (田中正之・国立西洋美術館)

15:20~16:00 質疑応答 (司会 前田茂・京都精華大学)

『BLAST』は、本質的に大衆的であろうとする。特定の階級ではなく、あらゆる階級と人種のうちにある基本的かつ大衆的な本能、すなわち《個人》に訴えかけようとする。自らを芸術家だと実感ないし認識するとき、人はいかなる場所にも時間にも属すのをやめる。『BLAST』は、万人のうちに存在する、この無時間的で根源的な芸術家のために創造される。——雑誌『BLAST』(1914)、巻頭辞より

参加申し込みは以下の URL (Google フォーム) より

<https://docs.google.com/forms/d/1pKen7wh1exLuYtWOYok6DdPO1Q54zTJsCxGxTb1ocEM/>

※フォームから入力していただいたメールアドレスに当日のオンライン研究会の案内をお送りします。